

ワークショップ2 キャリアヒストリーで仕事 (work) と人生 (life) を振り返る

7月30日(金) 16:10~18:10 3チャンネル

WS-02(要旨) キャリアヒストリーで仕事 (work) と人生 (life) を振り返る

Career history mapping method workshop; reflection on work and life

司会：種村 文孝(京都大学)

【目的】

仕事 (work) と人生 (life) の双方を含めた広義のキャリアに関して、自身が何を大切に歩んできたか、これから何を大切にしていくかを振り返ることを目指す。また、他の人が仕事や人生において大切にしていることを把握し、医師としての職業人生のあり方、働きやすさ、キャリア支援の方法についても深めることを目的とする。

【背景】

医師としてのキャリアには、仕事としての狭義のキャリアと人生を含めた歩みとしての広義のキャリアが存在する。後期研修や専門医の選択、どこで働き、どこで経験を積むかなどの仕事に関するキャリアは、専門職としての医師のアイデンティティ形成に関する重要な要素である。一方、私生活の充実、家族との生活、結婚、出産や子育て、介護など、人生に関する要素もバーニアウトの防止やwell-beingの観点から重要性が増している。コロナ禍で、目の前の仕事や状況への対応に埋没しがちな昨今、キャリアに影響を与える多様な観点を含みながら長期的な視点で捉え直してみることが大切だと考えられる。

【対象】

医学生・研修医・専攻医。
主に、自身のキャリアを振り返りたい方、今後のキャリアを考えたい方、子育てや介護などを含めて働き方を見直したい方、キャリア支援に携わる方など。

【当日の流れ】

企画趣旨説明

参加者の自己紹介

個人ワーク(自身のキャリアヒストリーチャートの作成)

グループワーク(お互いのキャリアヒストリーの理解を深める対話)

全体共有・質疑応答

【内容】

自身のキャリアヒストリーについて、キャリアカウンセリングの一手法であるタイムライン法を参考に開発したフォーマットを用いて振り返る。個人ワークで、「転機となった出来事」や「長期的に影響を与えてきたこと」に注目して、職業人生の流れを把握する。その際に、キャリアに影響を与えるキーワードマップを参考に、仕事と人生の双方の視点からこれまでの歩みと、今後のキャリアについて深める。その後、他の参加者とワークを通しての気づきやキャリアに影響を与えている要因について対話し、自分の考えを振り返りつつ、多様な価値観や歩みを理解し、自らのキャリアを長期的な視点でとらえ直す契機とする。

ファシリテーター：渡邊 洋子(新潟大学)
Yoko Watanabe (Niigata University)

犬塚 典子(田園調布学園大学)
Noriko Inuzuka (Den-en Chofu University)

池田 雅則(兵庫県立大学)
Masanori Ikeda (University of Hyogo)

池田 法子(足利短期大学)
Noriko Ikeda (Ashikaga Junior College)

柏木 睦月(東京大学)
Mutsuki Kashiwagi (The University of Tokyo)